



イスラエル国 State of Israel



たばこ産業の特徴

1. シガレットの年間消費市場規模は約62億本。
2. たばこ製品の広告は厳しく規制されている。
3. Dubek Ltdはイスラエル唯一のシガレット・メーカーである

[1] 喫煙規制

警告文等：

「厚生省は、喫煙が貴方の健康に危険であると規定する」との警告文を包かに記載する必要あり。

喫煙禁止：

政府建物、映画館、銀行、大学、公共図書館、郵便局、エレベーター内では禁煙。

バス、タクシー、国内線、2時間以内の航空路線は禁煙。1994年以来、職場での喫煙は、管理者と従業員の話し合いで認められた以外は禁煙。

ショッピング・モール、空港、文化ホール、レストラン、カフェなど公共の場所での喫煙を禁止する新しい法律が2001年8月1日から施行された。

違反者の罰金は64ドルである。

広告規制：

たばこ製品の広告は厳しく規制されている。

ラジオ、テレビ放送、映画、新聞、18歳未満の子供向けの出版物など各種メディアや、公共の交通機関でのたばこ製品のコマーシャル・ネームや、たばこ製品の広告は禁止されている。

更に、ビルボードや屋外でたばこ製品の広告も規制されている。ビルボードのポスターには、喫煙は危険であることに関する警告を表示しなければならない。

(最近の動向)

訴訟：

1998年にイスラエル最大の健康保険会社が、Philip Morris、RJ Reynolds、Brown & Williamson、Lorillard、Dubekを含むアメリカとイスラエルのたばこメーカーを相手に20億ドルの損害賠償訴訟を起こしたが、敗訴した。

1997年に78名の元喫煙者がDubek社を相手取って起こした集団訴訟で、テルアビブ地方裁判所は2002年7月に、13.2万ドルの補償和解案を示している。

[2] 税制

従価税	小売り価格の47%
付加価値税	小売り価格の14.53%
特別税	12.85%/1000本
小売価格に対する税率	75.2%

[3] 喫煙者プロフィール

統計調査データは無いが、16歳以上の喫煙者率は20～28%と推定されている。

1990年代前半時の1人当たり喫煙本数は年間2,290本。

[4] 市場概況

輸入シガレットは国により市場の25%までに制限されているが、観光客の増加、生活水準の向上のために輸入シガレットのシェアは37.2%にまで増えている。

軽い製品への移行が顕著であるために、DubekはTimeの軽いバージョンを発売している。

製造数量等 単位億本 (出典 TJI/TOBACCO TRAVELLER)

	1998年	1999年	2000年
製造数量	61.5	61.5	61.5
輸出数量	2	2	2
輸入数量	24	24	24

[5] 製品概況

主要ブランドは

Time、Time 100、Broadway 80、Broadway 100、Europa、Montana、Sheraton、Nelson である。

[6] 小売り流通

Dubekはイスラエル最大の流通ネットワークを持っており、最大のスーパーマーケットからキオスクまで12,000店をカバーしている。

このネットワークには40以上の卸売店が含まれている。

同社はまたガザと西岸のパレスチナ自治区にも流通させている。

卸売り会社にはその他にElyashar社があり、流通シェアは30%ある。

[7] 企業概要

Dubek Ltd :

イスラエル唯一のシガレット・メーカーである。

1935年に設立され、1960年以来、同社の株式はテルアビブ証券市場に上場されている。

1971年にDubekは親会社と数社の子会社に再編成された。

2000年の売上は3億2,400万ドル(1999年は3億1,600万ドル)。

従業員は370名である。

サファドとペタティクバにシガレット工場がある。

テルアビブの近くにあるペタティクバ新工場は2,900万USドルが投じられ、製造能力70億本、従業員は500人。

同社は現在、アメリカンブレンド、バージニアブレンド、ライト・タイプを含め21のブランドのシガレットを製造している。

国内での販売に加えて、Dubek社は自社ブランドとプライベート・ブランドを海外の顧客向けに輸出している。

JTIはガザにシガレット製造工場を建設すると言われているが、この地域へシガレットを供給しているDubekには打撃になる。

[8] 葉たばこ概況

イスラエルでの葉たばこ生産は、品質が規準に達せず、価格は高すぎ、水を多く使うために中止された。

アラブの農業部門でさえもたばこ栽培には関心がない。

年間原料輸入数量は4,900トン。